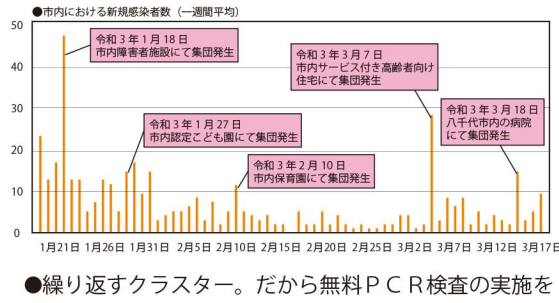


市長になったら何をするのか ～桜井の当面する8つの約束～

1 新型コロナ対策を拡充します

八千代市の累計感染者数は県内で6位の多さで、市民生活や経営者に厳しい状況が続いています。新型コロナウイルスに対する無料PCR検査の実施、入院受け入れなどの市民の健康管理支援、失業や収入減などの生活困窮支援、売り上げ減に苦しむ中小企業・個人事業者への経営支援を拡充します。



●繰り返すクラスター。だから無料PCR検査の実施を



2 子育て支援を拡充します

保育園は増設されていますが、まだ待機児童がいますし、隠れ待機児童など問題は解消していません。ひとり親家庭支援の拡充をします。高卒までの医療費を窓口無料にします。1クラス20人～30人の少人数教育の実施し、学校給食は自校方式にして給食費を無料にします。



●写真は給食の自校方式を採用している佐倉市

3 交通弱者の足を守る施策を推進します

1回につき500円の割引を1000円にするなど障害者等タクシー利用助成制度、高齢者外出支援事業制度を改善します。現在、市民の足を守るためにミニバスを全地域で運行させます。東葉高速の運賃値下げ問題については、関係3自治体の協力を強化して国に長期債務の負担軽減、利払いの軽減を要求。運賃値下げと京成線並みの定期券学割率をめざします。



●全地域でミニバスの運行を

4 公共施設再編は市民合意を前提にします

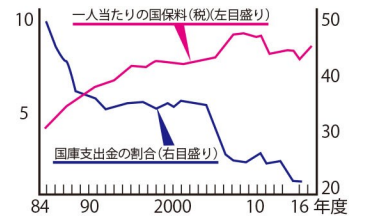
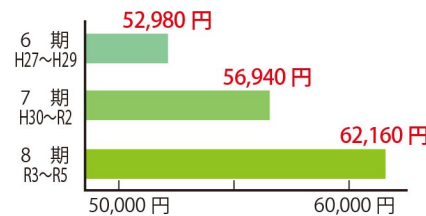
阿蘇・米本の小中学校の統廃合をはじめとする全市22校を7校に減らすなど（公共施設等個別施設計画）はやめて公共施設再編は市民合意を前提に。少年自然の家は存続します。市庁舎建て替え計画は白紙にして7割の経費削減ができる緊急減災防災事業債を活用して耐震化・大規模改修を推進します。



●統廃合が予定されている3校のひとつ米本小 ●廃止の方針が決定された少年自然の家

5 国民健康保険料や介護保険料を値下げします

八千代市の今年度国民健康保険料の値上りは、八千代市の保険料が高いので、今回は国民健康保険事業財政調整基金から補てんしましたが、介護保険料は介護給付費準備基金が10億6700万円もあるのに前期に続き56940円から5220円値上げの62160円となり、市民の負担は増えています。さらなる基金の活用や一般会計からの繰り入れで値下げを実施して県内でも高額な保険料の市民負担の軽減をします。



●服部市政による2期連続の介護保険料値上げ ●国の支出金が減少して国民の負担増になっている国民健康保険料

6 農業、商業、産業の振興を活性化します

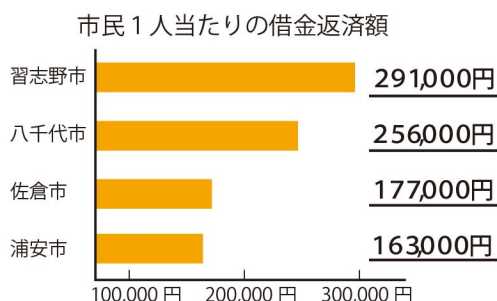
再生可能な自然エネルギーを推進。地産地消、食の安全を重視し、生産者と消費者との共同で農業を振興、産業振興基本条例を制定します。空き店舗の借り上げなどへの補助制度を設け、商店街の活性化を促進します。



●商店街の活性化を（八千代台駅前） ●すべての地元産に地産地消の促進を（八千代市の梨）

7 豊かな財政力を生かし暮らし・福祉を優先します

八千代市の財政力は、県内で上から7番目です。しかし、過去のハコモノ・開発優先の借金財政で市債残高512億円。近隣市と比較すると市民1人当たりの負担額は高くなっています。そのうえ、今後は市庁舎建て替えに117億円（市債90億円）。これでは市民の暮らし・福祉にお金は廻りません。



●県内類似団体比較。なお、八千代市が市庁舎を立て替えると借金返済額は習志野市を上回ります。

●100億円も借金してまで必要なのか？（市が発表した市庁舎建て替え基本設計より）

8 桜井は市長報酬を50%カットします

八千代市長の1期4年間の平均年収は約1700万円。1期4年間の市長報酬50%をカットして市民サービスの原資に活用します。